

## 再エネ電気「とやま水の郷でんき」西田美術館に導入開始

富士化学工業株式会社(本社:富山県中新川郡上市町、代表取締役社長:西田洋、以下「富士化学工業」)は、4月1日から、富山県営水力発電所から生み出されるCO<sub>2</sub>排出量ゼロの再生可能エネルギー「とやま水の郷でんき」の導入を開始します。これにより、当社郷柿沢工場敷地内にある西田美術館の電力100%が地元の再エネ電気より供給されることになりました。



「とやま水の郷でんき」は、富山県と北陸電力株式会社(住所:富山県富山市、以下「北陸電力」)がCO<sub>2</sub>排出削減に取り組む企業向けに創設した電気料金メニュー「とやま未来創生でんき」の一つであり、CO<sub>2</sub>排出量がゼロになる環境価値に加え、富山県産エネルギーの地産地消による産地価値にも繋がります。

富士化学工業では、持続可能な社会の実現に向けて、今後も再生可能エネルギーの使用を積極的に推進し、環境価値の提供、地球環境に配慮したサステナブルな脱炭素社会の実現に向けて貢献していきます。

<本件に関するお問い合わせ先>  
富士化学工業株式会社 総務部  
Tel 076-472-2323 Fax 076-472-2330

ウェブサイト: [www.fujichemical.co.jp](http://www.fujichemical.co.jp)